

第 7 回 運営推進会議議事録

令和 2 年 10 月 30 日作成

第7回運営推進会議はコロナウイルスまん延防止のために非開催とする。よって、作成した資料を構成員に方々に郵送し、うるおすでの取り組み、地域との関わりあいの報告を行なう。また、ご意見ご感想を頂き、今後のデイサービス運営に活かしてけるよう取り組む。

利用者状況

令和2 年 9 月現在

○利用者数 合計 71 名 男性 30 名 女性 43 名

○認定度内訳

事業対象者	2 名
要支援1	45 名
要支援2	13 名
要介護1	8 名
要介護2	3 名
要介護3	0 名
要介護4	0 名
要介護5	0 名

○平均年齢

性別内訳	男性	歳
	女性	歳

○日別利用状況

定員数 10 名

月曜日	午前 8 名	午後 7 名
火曜日	午前 8 名	午後 9 名
水曜日	午前 8 名	午後 9 名
木曜日	午前 10 名	午後 9 名
金曜日	午前 9 名	午後 9 名
土曜日	休み	休み
日曜日	休み	休み

事業所概要

○ご利用対象者

介護保険の認定を受けている方が対象になります。要支援から要介護の方を利用対象となります。

○利用できる時間帯

午前	9 時～	12:10 迄	休日
午後	13:50 時～	17:00 迄	土、日曜日
			年末年始

○サービスの特徴

弊社デイサービスは、利用者様の運動不足解消と他者との交流の場を主体的に提供しております。特に、高齢になられる事で、身体的な問題から外出がする事が困難な方が多く見受けられます。弊社デイサービスを通して、定期的にご利用を頂き、機能訓練(運動)を意欲的に行っていただく事で、健康予防に繋がるサービスを提供させて頂いております。

○サービス内容(基本的な流れ)

午前時間 午後時間

8:30～ 13:15～

9:00～ 13:45～

9:30～ 14:15～

10:00～ 14:45～

11:00～ 15:45～

11:30～ 16:15～

12:15～ 17:00～

ご自宅訪問、事業所まで送迎

健康管理(血圧測定、問診)

集団体操

マシントレーニング

個別トレーニング

他者との交流時間(おやつ等交えて)

ご自宅まで送迎

○個別トレーニングとは

利用開始に合わせて、利用者個別に必要なトレーニング内容(機能訓練計画書)を定めます。下肢の筋力や歩行、上肢の動作などに不安をお持ちの方に、必要なトレーニングメニューを定め、運動を進めて頂きます。

職員状況

管理者	1名	(資格	介護福祉士)
生活相談員	1名	(資格	介護福祉士)
機能訓練指導員	2名	(資格	柔道整復師)
介護職員	2名	(資格	栄養士、柔道整復師)
看護職員	名	(資格)

苦情相談、事故件数(直近6ヶ月)

○苦情相談件数 1件

寄せられた苦情相談内容

令和2年7月2日にケアマネージャー様経由でご家族様より苦情を承りました。内容としましては、ご家族様がデイでどのような運動をしているか、わからないため不満をもっているということでした。デイとしましては、利用初日に何を行ったか記載をする連絡帳の説明をご利用様に行い、希望する方のみ配布していました。そのご利用者様は必要ないと言われたため、ご家庭でデイで何を行っているのかをお話されていると思っておりました。

連絡を受けてからは、すぐにご家族様に説明、謝罪を行い次回の利用日から連絡帳をお渡ししました。今回のことを受け、ご利用者様のみに連絡帳の必要性を問うのではなく、契約時にご家族様に連絡帳の見本を見せながら説明し必要性の有無をお伺いすることにしました。また、記憶力低下が疑われる場合にはデイで判断し積極的に連絡帳をお渡しするようにしております。

○事故内容 1件

令和2年7月17日にフロア内で、風船バレー運動中に転倒事故が発生してしまいました。運動開始前に立ってはいけないことを伝え、ご利用者様同士の距離感を縮めてから行い、安全に配慮したつもりでいました。しかしながら、その転倒されてしまったご利用者様は、認知症が進んできており風船バレーで夢中になり、ご自分の手元では少し届かない風船がきた際に急に立ち上がり、バランスを崩し床へ尻もちをつかれてしまいました。

今回の転倒事故要因は、認知症が進んでいることを知っていたものの、職員が近くで立って待機していたので、もしもの時にはすぐにカバーできると過信があったこと、風船バレーに対し、立ち上がるなど周りが見えなくなるまでは夢中にならないであろうと職員が思い込んでしまったことが考えられます。

幸いなことに、転倒後は自力でベットまで歩く事ができ、問診、ボディーチェックを行ったところ、皮下出血や痛みなどもなく歩行も通常通りでした。その後早急に、ご家族様、ケアマネージャ様にも事故発生状況を説明させていただきました。

今後の対応策としましては、このご利用者様に対してボール、風船など転がってしまう物を使っての運動を禁止し、座位、立位での運動時は必ず職員がすぐにカバーできる位置に待機することとしまし

た。また、車からの乗り降り、フロア移動時も周りや足元が見えておらず、前しか見えていないことが多いと感じられます。これは目標物(例えば、いつも座る席、手洗い場など)に向かって周りに何があるとも、突進してしまう様子が見られるため、危険察知能力が低下してきているためだと思われます。これらのことを常に頭に入れ、職員一同努めていきたいと思えます。

・小松島地域包括支援センターより

S・M様よりご意見を頂く。運営推進会議資料の苦情、事故の対応としてデイサービスにてしっかりと検証され対応策や今後の業務へ活かす姿勢は発展的で地域でも安心してサービス提供が受けられるデイサービスとして評価されるのではないかと思います。うるおさんの介護予防に向けての様々な取り組みを利用者さんも自宅で行っています。資料1の「トレーニングをしてみましょう。」は、文字が多く情報量を減らして、職員の写真付き解説の方が分かり易いかと思いました。取り組みとしては素晴らしい企画ですね。今後ともどうぞ宜しくお願いします。

・高松町内会長のS・T様より

毎日大変ご苦勞様です。高齢者が増加、認知症もそれにともない増加し、皆様も氣苦勞がいかばかりかと思っています。国勢調査で訪問することがあるのですが、高齢者、認知症の方の多さに驚きました。デイサービスのこれからは非常な重要な役割を担う仕事だと痛切に感じられます。その為に関係機関ともいい関係性を築くことも大切です。年配者が元気に生活していくために大変な時代になってきました。どうか高齢者に対してあたたかい目で接して頂ければと願っています。

・うるおご利用のD・K様より(要介護2)

私にとっての癒しはスタッフの皆さんとの何気ない会話です。今後とも宜しくお願い致します。

・民生委員のC・M様より

お年をめた方々の相手をするということはどれ一つとっても長年の生き方の違いによる多くの感じ方、考え方があり大変ですね。苦情、事故はそれぞれ個人的結果でありうるおさんの問題とは言い難いのに一人一人に丁寧に対応なさる姿、とても大切だと思われました。アンケートで前回の反省を踏まえてマシン効果が分かるよう声がけを続け「もっと汗をかく」などの前向きな声があがっていると嬉しいなあと思いました。アンケートを提出されなかった方の思いをしっかりと受け止めこれからも利用者さん職員の方々の笑顔を求めて頑張ってください。